

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2020年3月11日[当初、2023年4月6日]まで (2015年3月25日設定)	
運用方針	円建ての外国投資信託であるマルチ セクター バリュースティック ファンド – JPYノンヘッジド クラスの投資信託証券への投資を通じて、主として世界(新興国を含みます。)の米ドル建てを中心とする公社債等に実質的な投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行います。	
主要運用対象	三菱UFJ 債券 バランスファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型)	マルチ セクター バリュースティック ファンド – JPY ノンヘッジド クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	マルチ セクター バリュースティック ファンド – JPY ノンヘッジド クラス	米ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 償還報告書 (全体版)

[繰上償還]

### 三菱UFJ 債券バランスファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

愛称：ボンドレター 毎月



第55期 (決算日：2019年11月6日)

第56期 (決算日：2019年12月6日)

第57期 (決算日：2020年1月6日)

第58期 (決算日：2020年2月6日)

第59期 (決算日：2020年3月6日)

信託終了日：2020年3月11日



### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、3月11日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00~17:00、  
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 達 金		期 騰 落	中 率	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		分 配	金								
31期(2017年11月6日)	9,498		20		1.7	—	—	—	—	98.0	1
32期(2017年12月6日)	9,368		20		△1.2	—	—	—	—	96.4	2
33期(2018年1月9日)	9,372		20		0.3	—	—	—	—	98.5	3
34期(2018年2月6日)	9,057		20		△3.1	—	—	—	—	98.2	2
35期(2018年3月6日)	8,608		20		△4.7	—	—	—	—	98.8	2
36期(2018年4月6日)	8,713		20		1.5	—	—	—	—	98.1	2
37期(2018年5月7日)	8,755		20		0.7	—	—	—	—	97.8	2
38期(2018年6月6日)	8,769		20		0.4	—	—	—	—	98.4	2
39期(2018年7月6日)	8,811		20		0.7	—	—	—	—	98.1	3
40期(2018年8月6日)	8,863		20		0.8	—	—	—	—	97.8	3
41期(2018年9月6日)	8,842		20		△0.0	—	—	—	—	98.3	3
42期(2018年10月9日)	8,928		20		1.2	—	—	—	—	97.9	3
43期(2018年11月6日)	8,820		20		△1.0	—	—	—	—	97.9	3
44期(2018年12月6日)	8,817		20		0.2	—	—	—	—	98.7	3
45期(2019年1月7日)	8,480		20		△3.6	—	—	—	—	97.9	3
46期(2019年2月6日)	8,723		20		3.1	—	—	—	—	97.9	3
47期(2019年3月6日)	8,866		20		1.9	—	—	—	—	98.9	3
48期(2019年4月8日)	8,960		20		1.3	—	—	—	—	98.4	3
49期(2019年5月7日)	8,899		20		△0.5	—	—	—	—	98.0	3
50期(2019年6月6日)	8,743		20		△1.5	—	—	—	—	98.1	3
51期(2019年7月8日)	8,881		20		1.8	—	—	—	—	98.0	3
52期(2019年8月6日)	8,697		20		△1.8	—	—	—	—	97.8	3
53期(2019年9月6日)	8,810		20		1.5	—	—	—	—	98.6	3
54期(2019年10月7日)	8,800		20		0.1	—	—	—	—	98.2	3
55期(2019年11月6日)	8,959		20		2.0	—	—	—	—	98.3	3
56期(2019年12月6日)	8,960		20		0.2	—	—	—	—	97.8	3
57期(2020年1月6日)	8,999		20		0.7	—	—	—	—	98.1	3
58期(2020年2月6日)	9,171		20		2.1	—	—	—	—	98.6	3
59期(2020年3月6日)	8,979		0		△2.1	—	—	—	—	—	3
(償還時)	(償還価額)										
60期(2020年3月11日)	8,977.86		—		△0.0	—	—	—	—	—	3

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比	託 券 率
第55期	(期首)	円 銭		%	%		%		%	
	2019年10月7日	8,800		—	—		—		98.2	
	10月末	8,948		1.7	—		—		98.1	
第56期	(期末)									
	2019年11月6日	8,959		—	—		—		98.3	
	11月末	9,025		0.7	—		—		98.1	
第57期	(期首)									
	2019年12月6日	8,980		0.2	—		—		97.8	
	12月末	9,025		0.7	—		—		98.1	
第58期	(期首)									
	2020年1月6日	8,960		—	—		—		97.8	
	1月末	9,115		1.7	—		—		97.8	
第59期	(期末)									
	2020年1月6日	9,019		0.7	—		—		98.1	
	1月末	9,095		1.1	—		—		98.2	
第60期	(期首)									
	2020年2月6日	8,999		—	—		—		98.1	
	2月末	9,095		1.1	—		—		98.2	
第61期	(期首)									
	2020年2月6日	9,171		—	—		—		98.6	
	2月末	9,173		0.0	—		—		98.7	
第62期	(期末)									
	2020年3月6日	8,979		△2.1	—		—		—	
	(期首)									
第63期	2020年3月6日	8,979		—	—		—		—	
	(償還時)	(償還価額)								
	2020年3月11日	8,977.86		△0.0	—		—		—	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

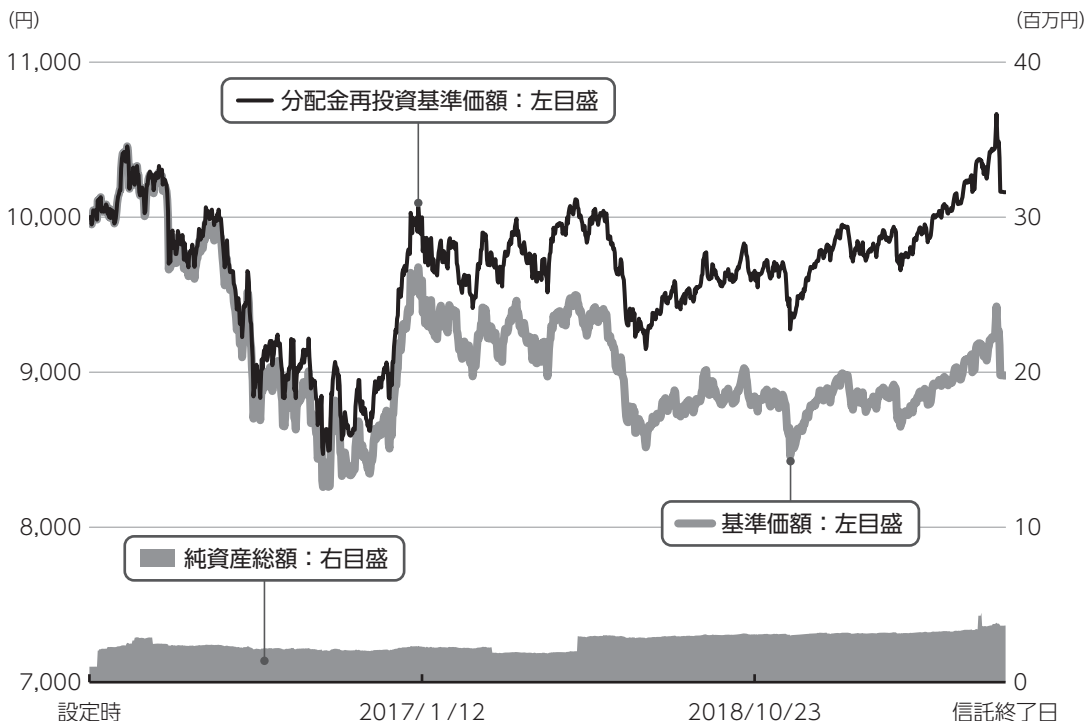
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第1期～第60期：2015年3月25日～2020年3月11日

## 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第60期末	8,977.86円
既払分配金	1,120円
騰落率	1.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ1.6% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

### > 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

米欧金融当局の金融緩和姿勢等を受けて米独長期金利が低下したことや、債券利子収入を享受したこと等を背景に、世界の米ドル建て債券市況が上昇したこと等が、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

投資家心理の悪化などを背景に、米ドルが対円で下落したこと等が、基準価額の下落要因となりました。

第1期～第60期：2015年3月25日～2020年3月11日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**信託期間を通じてみると、世界の米ドル建て債券市況は上昇しました。**

米国長期金利は、2018年末にかけて、トランプ政権の経済政策や米税制改革法案の成立等による景気拡大期待等を背景に上昇したものの、その後米金融当局が利下げを実施したこと等を受けて低下に転じた結果、信託期間を通じてみると低下しました。ドイツ長期金利は、イタリアの政治不安に加え、欧州金融当局が緩和的な姿勢を示したこと等が金利低下の材料となり、低下しました。

このような環境下、世界の米ドル建て債券市況は、債券利子収入を享受したことや、米独金利がともに低下したこと等がプラスとなり、上昇しました。

### ▶ 為替市況

**米ドルは対円で下落しました。**

米中貿易摩擦問題や英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感等を受けて、投資家のリスク回避姿勢が高まったこと等を背景に、米ドルは対円で下落しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%前後で推移しました。**

設定時から2016年1月までの無担保コール翌日物金利は、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、0.1%を下回る水準で推移しました。2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下ではマイナス0.065%程度で推移しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 債券バランスファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

信託期間を通じて、主として外国投資信託であるマルチ セクター バリューストック ファンド - JPYノンヘッジド クラスへの投資を通じて、世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする公社債等を高位に組み入れる運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

最終作成期（2019年10月8日～信託終了日）は、前記の運用を維持しましたが、繰上償還に向け、2020年3月上旬に、マルチ セクター バリューストック ファンド - JPYノンヘッジド クラス、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組入比率をゼロとしました。

### ▶ マルチ セクター バリューストック ファンド - JPYノンヘッジド クラス

当該外国投資信託では、信託期間を通じて、為替ヘッジを行いませんでした。

米国景気の回復が企業の良好なファンダメンタルズと低水準のデフォルト（債務不履行）率をサポートするとの見方等から、ハイイールド社債やバンクローンなどを積極的に組み入れました。エマージング債券は、景気動向などを考慮し、選択的に組み入れました。また、転換社債については、株価上昇の恩恵を受けやすく、債券対比で魅力的とみられる一部の銘柄を戦略的に組み入れました。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド

信託期間を通じて、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第3期から第58期は各20円、その他の期につきましては見送りとさせていただきます。なお、信託約款の規定に従い第2期までの収益分配は行っていません。信託期間中、累計で1,120円の分配を行わせていただきました。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第55期 2019年10月8日～ 2019年11月6日	第56期 2019年11月7日～ 2019年12月6日	第57期 2019年12月7日～ 2020年1月6日	第58期 2020年1月7日～ 2020年2月6日	第59期 2020年2月7日～ 2020年3月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.223%)	20 (0.223%)	20 (0.222%)	20 (0.218%)	— (—%)
当期の収益	20	20	20	20	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,252	1,256	1,266	1,276	1,301

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 償還価額

### 三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

償還価額は、8,977円86銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。



2019年10月8日～2020年3月11日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第55期～第60期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	46	0.504	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(15)	(0.162)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(30)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	46	0.504	

作成期中の平均基準価額は、9,042円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

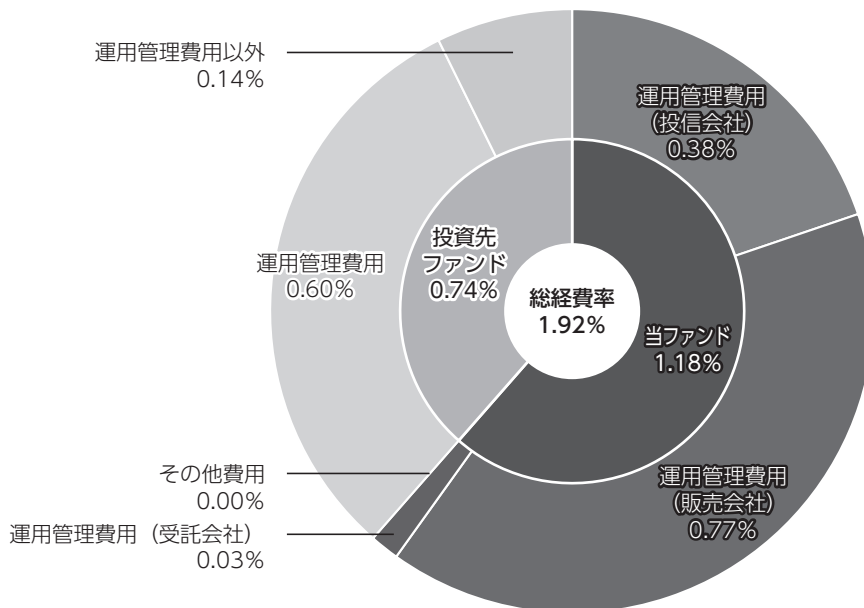
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.92%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.92
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.14

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年10月8日～2020年3月11日)

## 投資信託証券

銘柄		第55期～第60期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マルチセクターバリューボンドファンド - JPY/ヘッジドクラス	千口 0.1457	千円 1,223	千口 0.5376	千円 4,427

(注) 金額は受渡代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第55期～第60期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 0.983	千円 1

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年10月8日～2020年3月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年10月8日～2020年3月11日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2020年3月11日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第54期末	
		口	数
マルチ セクター バリュアー ボンド ファンド - JPYノンヘッジド クラス			千口 0.3919
合	計		0.3919

## 親投資信託残高

銘	柄	第54期末	
		口	数
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 0.983

## ○投資信託財産の構成

(2020年3月11日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 3,656	% 100.0
投資信託財産総額	3,656	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準(償還)価額の状況

項 目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	償 還 時
	2019年11月6日現在	2019年12月6日現在	2020年1月6日現在	2020年2月6日現在	2020年3月6日現在	2020年3月11日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,294,693	3,325,346	3,372,093	3,649,749	3,649,548	3,656,836
コール・ローン等	63,857	83,916	75,252	66,851	3,649,548	3,656,836
投資信託受益証券(評価額)	3,229,836	3,240,430	3,295,841	3,581,898	—	—
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	1,000	1,000	1,000	1,000	—	—
(B) 負債	10,493	10,593	10,855	16,133	3,503	598
未払収益分配金	7,331	7,399	7,470	7,923	—	—
未払解約金	—	—	—	4,500	—	—
未払信託報酬	3,160	3,194	3,383	3,708	3,496	591
未払利息	—	—	—	—	4	7
その他未払費用	2	—	2	2	3	—
(C) 純資産総額(A-B)	3,284,200	3,314,753	3,361,238	3,633,616	3,646,045	3,656,238
元本	3,665,770	3,699,613	3,735,113	3,961,911	4,060,463	4,072,505
次期繰越損益金	△ 381,570	△ 384,860	△ 373,875	△ 328,295	△ 414,418	—
償還差損金	—	—	—	—	—	△ 416,267
(D) 受益権総口数	3,665,770口	3,699,613口	3,735,113口	3,961,911口	4,060,463口	4,072,505口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,959円	8,960円	8,999円	9,171円	8,979円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	—	8,977円86銭

## ○損益の状況

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2019年10月8日～ 2019年11月6日	2019年11月7日～ 2019年12月6日	2019年12月7日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年2月6日	2020年2月7日～ 2020年3月6日	2020年3月7日～ 2020年3月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	12,541	12,197	12,755	12,741	13,448	△ 27
受取配当金	12,541	12,197	12,755	12,741	13,455	—
支払利息	—	—	—	—	△ 7	△ 27
(B) 有価証券売買損益	55,996	△ 1,509	12,652	49,697	△ 88,666	—
売買益	56,126	81	12,661	61,215	—	—
売買損	△ 130	△ 1,590	△ 9	△ 11,518	△ 88,666	—
(C) 信託報酬等	△ 3,162	△ 3,194	△ 3,385	△ 3,710	△ 3,499	△ 591
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	65,375	7,494	22,022	58,728	△ 78,717	△ 618
(E) 前期繰越損益金	△319,427	△259,044	△258,080	△193,637	△141,515	△220,232
(F) 追加信託差損益金	△120,187	△125,911	△130,347	△185,463	△194,186	△195,417
(配当等相当額)	( 186,167)	( 192,933)	( 198,331)	( 283,369)	( 298,071)	( 299,638)
(売買損益相当額)	(△306,354)	(△318,844)	(△328,678)	(△468,832)	(△492,257)	(△495,055)
(G) 計(D+E+F)	△374,239	△377,461	△366,405	△320,372	△414,418	—
(H) 収益分配金	△ 7,331	△ 7,399	△ 7,470	△ 7,923	0	—
次期繰越損益金(G+H)	△381,570	△384,860	△373,875	△328,295	△414,418	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	—	—	△416,267
追加信託差損益金	△120,187	△125,911	△130,347	△185,463	△194,186	—
(配当等相当額)	( 186,167)	( 192,933)	( 198,331)	( 283,369)	( 298,071)	( —)
(売買損益相当額)	(△306,354)	(△318,844)	(△328,678)	(△468,832)	(△492,257)	( —)
分配準備積立金	272,923	272,084	274,756	222,529	230,426	—
繰越損益金	△534,306	△531,033	△518,284	△365,361	△450,658	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

①作成期首(前作成期末)元本額 3,658,890円

  作成期中追加設定元本額 1,504,491円

  作成期中一部解約元本額 1,090,876円

  また、1口当たり純資産額は、作成期末0.897786円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は416,267円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年10月8日～ 2019年11月6日	2019年11月7日～ 2019年12月6日	2019年12月7日～ 2020年1月6日	2020年1月7日～ 2020年2月6日	2020年2月7日～ 2020年3月6日
費用控除後の配当等収益額	11,962円	9,003円	11,056円	11,984円	9,949円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	186,167円	192,933円	198,331円	283,369円	298,071円
分配準備積立金額	268,292円	270,480円	271,170円	218,468円	220,477円
当ファンドの分配対象収益額	466,421円	472,416円	480,557円	513,821円	528,497円
1万口当たり収益分配対象額	1,272円	1,276円	1,286円	1,296円	1,301円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	—円
収益分配金金額	7,331円	7,399円	7,470円	7,923円	—円

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年3月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年3月11日		資産総額	3,656,836円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	598円
受益権口数	1,000,000口	4,072,505口	3,072,505口	純資産総額	3,656,238円
元本額	1,000,000円	4,072,505円	3,072,505円	受益権口数	4,072,505口
				1万円当たり償還金	8,977円86銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,265,401円	2,264,106円	9,994円	－円	－%
第2期	2,427,238	2,538,047	10,457	－	－
第3期	2,811,362	2,859,116	10,170	20	0.2
第4期	2,428,111	2,498,624	10,290	20	0.2
第5期	2,428,840	2,357,064	9,704	20	0.2
第6期	2,429,759	2,354,586	9,691	20	0.2
第7期	2,430,683	2,395,586	9,856	20	0.2
第8期	2,431,594	2,399,032	9,866	20	0.2
第9期	2,432,506	2,292,227	9,423	20	0.2
第10期	2,433,462	2,229,092	9,160	20	0.2
第11期	2,434,444	2,190,944	9,000	20	0.2
第12期	2,437,638	2,157,843	8,852	20	0.2
第13期	2,452,257	2,133,121	8,699	20	0.2
第14期	2,446,532	2,121,492	8,671	20	0.2
第15期	2,449,872	2,037,918	8,318	20	0.2
第16期	2,453,363	2,064,086	8,413	20	0.2
第17期	2,406,799	2,084,890	8,663	20	0.2
第18期	2,410,051	2,069,962	8,589	20	0.2
第19期	2,413,339	2,052,915	8,507	20	0.2
第20期	2,416,664	2,250,444	9,312	20	0.2
第21期	2,419,687	2,298,304	9,498	20	0.2
第22期	2,412,386	2,226,534	9,230	20	0.2
第23期	2,415,428	2,276,113	9,423	20	0.2
第24期	2,418,413	2,218,066	9,172	20	0.2
第25期	2,421,485	2,254,665	9,311	20	0.2
第26期	2,060,924	1,892,023	9,180	20	0.2
第27期	2,063,212	1,935,107	9,379	20	0.2
第28期	2,065,460	1,906,187	9,229	20	0.2
第29期	2,067,749	1,878,630	9,085	20	0.2
第30期	2,070,080	1,937,834	9,361	20	0.2
第31期	2,103,874	1,998,362	9,498	20	0.2

三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	3,175,857円	2,975,143円	9,368円	20円	0.2%
第33期	3,236,997	3,033,622	9,372	20	0.2
第34期	3,289,704	2,979,609	9,057	20	0.2
第35期	3,311,645	2,850,720	8,608	20	0.2
第36期	3,345,453	2,914,752	8,713	20	0.2
第37期	3,367,485	2,948,182	8,755	20	0.2
第38期	3,395,120	2,977,178	8,769	20	0.2
第39期	3,417,164	3,010,895	8,811	20	0.2
第40期	3,438,967	3,048,065	8,863	20	0.2
第41期	3,466,361	3,064,934	8,842	20	0.2
第42期	3,493,619	3,119,184	8,928	20	0.2
第43期	3,504,538	3,091,169	8,820	20	0.2
第44期	3,521,118	3,104,620	8,817	20	0.2
第45期	3,560,157	3,019,030	8,480	20	0.2
第46期	3,571,616	3,115,379	8,723	20	0.2
第47期	3,596,850	3,188,944	8,866	20	0.2
第48期	3,545,383	3,176,794	8,960	20	0.2
第49期	3,572,691	3,179,417	8,899	20	0.2
第50期	3,579,403	3,129,459	8,743	20	0.2
第51期	3,596,242	3,193,958	8,881	20	0.2
第52期	3,612,803	3,141,877	8,697	20	0.2
第53期	3,629,955	3,197,874	8,810	20	0.2
第54期	3,658,890	3,219,954	8,800	20	0.2
第55期	3,665,770	3,284,200	8,959	20	0.2
第56期	3,699,613	3,314,753	8,960	20	0.2
第57期	3,735,113	3,361,238	8,999	20	0.2
第58期	3,961,911	3,633,616	9,171	20	0.2
第59期	4,060,463	3,646,045	8,979	0	0.0



## ○分配金のお知らせ

	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	0円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## ○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	8,977円86銭
------------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

### 【お知らせ】

受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2020年3月11日)